

2026年4月7日

[配信枚数 1 枚]

発信元 滋賀大学総務課企画・広報室

報道関係者 各位

西尾治幾 講師 (データサイエンス・AI イノベーション 研究推進センター) が若手科学者賞を受賞

令和8年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「若手科学者賞」を、滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センターの西尾治幾 (にしお・はるき) 講師が受賞することが、2026年4月7日に文部科学省より発表されました。

受賞対象となった研究課題は「自然環境下における植物の季節的な遺伝子制御の研究」です。

「若手科学者賞」は、萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績を挙げた若手研究者個人を表彰するものです。表彰式は以下の要領で執り行われます。

【令和8年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 表彰式】

日 付：2026年4月15日 (水)

会 場：文部科学省 3階 講堂 (東京都千代田区霞が関 3-2-2)

[受賞研究の概要]

植物は過去の環境の傾向を記憶することで、季節変化を認識しています。遺伝子制御システムは植物の記憶において中心的な役割を果たしていますが、その進化の現場である自然環境下における働きは十分に理解されていません。

西尾講師は、世界に先駆けて、記憶を担うヒストン修飾の時間変化を植物自然集団で調べました。データサイエンスを活用して因果関係を調べることで、花成やストレス記憶に関わる遺伝子において、環境の短期変動に応答しない頑健な活性変化をヒストン修飾が支える仕組みを解明しました。

本研究成果は、環境変動やストレスに対して頑健な作物の開発や栽培技術の改良、変動環境下における安定した交配成功の実現などに資するものです。さらに、地球規模の気候変動が植物に与える影響の評価や、その対応策の構築に向けた基盤情報を提供することが期待されます。

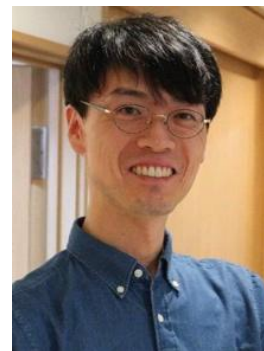
[西尾治幾 講師 略歴]

2016年に京都大学より博士 (理学) を取得。

京大大学生態学研究センター博士研究員を経て、2021年より滋賀大学データサイエンス教育研究センター助教。2024年より現職。

これまでに第30回日本生態学会宮地賞などを受賞。

専門は植物分子生態学、バイオインフォマティクス、ベイズ統計学。



●本件に関するお問い合わせ

滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター 戦略推進室

TEL : 0749-27-1402 E-mail : ura@shiga-u.ac.jp